

平成28年10月1日

会員各位

協会だよりー286(10月号)

JCRA (Japan Catalyst Recovering
Association)

触媒資源化協会

トピックス：

- 第230回月例会（一泊研修会）は今週開催です。
日 時：10月6日（木）集合場所と時間・羽田 JAL カウンター7：10頃
出発 7：50（予定）JAL551 便（旭川行き）
見学先：野村興産㈱イトムカ鉱業所㈱（北海道北見市留辺蘂町富士見 217-1）
宿泊先：塩別つつる温泉（北海道北見市留辺蘂町滝の湯 201）
見学先：国立大学法人北見工業大学（北海道北見市公園町 165）
帰京予定：10/7（金）女満別発 14：45 JAL564 便（羽田行き）
- 第34回 JSCRA 会（協会主催ゴルフ大会）
日 時：11月4日（金）9時00分スタート
コース：狭山ゴルフクラブ（埼玉県入間市市下谷ヶ貫 492）
組 数：5組（20名）予定（現在18名エントリー）



御所湖（盛岡市繁温泉）より岩手山を望む

- 一. 協会よりのお知らせ
- 二. 新規会員紹介（㈱サムウッド・ネオ）
- 三. 石坂産業㈱見学記（第230回月例会）
 - 石坂産業様よりの見学礼状
- 四. 事務局より（十月度の予定）
- 五. 【雑学】町田市の境界を巡る8
（相原駅から多摩境駅を巡る）

1. 協会よりのお知らせ

〔実施済事項〕

- ① 協会だよりー285（9月号）をメール&郵便で送信（8/30）

② 第229回月例会（見学会）開催

日 時：9月9日（金）10：00～15：00…石坂産業㈱（三芳町）

17：00～19：00…主婦会館プラザエフ（四ツ谷）

集合場所：JR 池袋駅西口・芸術劇場前 8：10 出発 8：30

月例幹事：日興リカ㈱・服部産業㈱・日誠金属㈱・安田薬品㈱の4社

参加者：施設見学 38名。懇親会 32名。

③ 第3回運営委員会

日 時：9月21日（水）16：00～17：00

場 所：堺化学工業㈱東京支店

出 席：運営委員・第230回月例幹事（小島化学薬品㈱・中外鉱業㈱）事務局

議 題：第229回月例会（見学会）の反省と第230回月例会（一泊研修会）の準備

〔予定事項〕

① 第230回月例会（一泊研修会）開催

日 時：10月6日（木）～7日（金）

見学先：・野村興産㈱イトムカ鉱業所（10/6）

・北見工業大学（10/7）

集合場所：羽田空港 JAL カウンター前 7：10（JAL551 便旭川空港行き）

幹事会社：小島化学薬品㈱（蓑輪裕樹様）

中外鉱業㈱（西野正人様）

クラリアント触媒㈱（金井岳英様）

横浜金属㈱（岡野由宇様）

ミヤマ㈱（川上好武様）の5社の方々をお願いしています。

追 記：野村興産㈱営業部営業課（本社）の井森翔様が、先乗りシイトムカ鉱業所で皆様をお待ちしています。

2. 新規会員紹介

● 株式会社サムウッド・ネオ

9/13に入会申請（賛助会員）があり、役員会の審査を経て9/20賛助会員として入会が認められました。

所在地：〒101-0046 東京都千代田神田多町2-2 No.3ハヤカワビル3F

電話：03-3527-1239 FAX：03-3527-1236

代表及び協会担当者：代表取締役 里見 政一

資本金：10,000千円

事業内容：①各種金属及び金属化合物の製品・半製品・屑、無機化学品、無機薬品の販売、仲介及びリサイクル業務

② 上記の輸出入

以上

3. 石坂産業(株)見学記（第229回月例会）-記：津田太（安田薬品(株)）

第229回月例会では、石坂産業(株)を訪問し施設見学をして参りました。

石坂産業(株)は産業廃棄物中間処理業社ですが、近隣の森林の保全や地域の活性化に注力しており注目されています。

石坂産業(株)の在る埼玉県入間郡三芳町周辺は、江戸時代に川越藩士によって開拓された特徴的な短冊型の地割が残る地域で、三芳町の上富、川越市の中富および下富と合わせ、埼玉県指定旧跡「三富新田（さんとめしんでん）」としても知られています。

現在は三芳町・川越市・所沢市の2市1町に跨る石坂産業(株)が中心となり、「三富今昔村」として地域住民や自治体と協力し、三富新田の保全および地域活性の活動を行っておりますが、そう遠くない過去には石坂産業(株)は地域住民から追放の署名が集まる様な状態だったとのことです。

1990年以降、三芳町に隣接する所沢市東部では、産業廃棄物の小型焼却炉や中間処分場が多数立地し、野焼きも多く、一時は60本程の煙突が立っていたそうです。そのような中で1999年にハウレン草ダイオキシン問題が発生し、地域住民による産廃業者追放運動が始まり、所沢市の規制強化から石坂産業(株)以外の産廃業者は撤退したとのことです。



所在する三芳町の認可を取得していた石坂産業(株)は、当時15億円かけて対策済みの焼却炉3基を完成させたばかりでしたが、地域住民からしてみると一番大きな焼却炉だけが残る状態となったことで、追放の署名が集まり、監視小屋までできる状態だったようです。

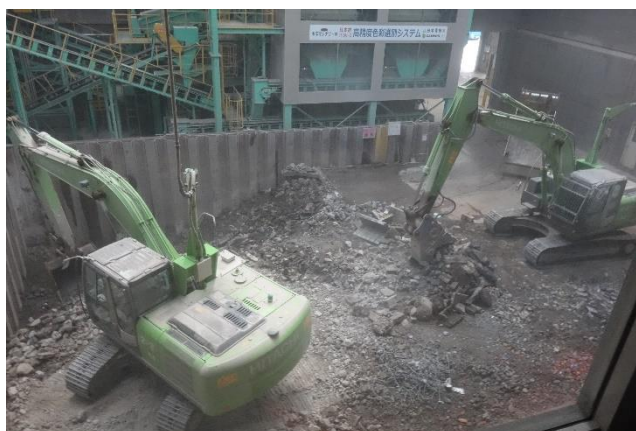
そこで石坂産業(株)は、地域に受け入れてもらう為に40億円を投資して、剥き出しの工場を建屋で覆い、粉塵が外に漏れださないよう巨大な集塵機を設置し、出入りするトラックのタイヤを洗浄するなど、埃を一切外へ出さない工場へ転換したそうです。しかし、サティアンという言葉が流行していた時期でもあり、今度は地域住民から“隠し事をしている”という疑念を抱かれることとなってしまった為、2億円かけて工場の見学通路を設置し“見せる経営”に切り替えたそうです。

この度、工場を見学させて頂き、自然環境および地域住民へ配慮した様々な工夫を目の当たりにし大変勉強となりました。埼玉県内の産業廃棄



物中間処理業社のリサイクル率が70～80%の中、石坂産業㈱のリサイクル率は95～97%を達成しているとのこと。

工場では、荷受けから厳しいルールを設け、ルールを守らなければ受け入れをしません。その為、顧客にてしっかりと分別された廃棄物を、しっかりと荷積みして持ち込むようになっています。廃棄物の種類によって処理する建屋が異なり、それぞれのラインでは人の手による徹底的な分別がなされています。例えば金属ゴミでは、見た目には違いがわからない様な材質でも床に叩きつけた際の音や、削り出した内部の色の違い等で分けていました。



石坂産業㈱は主に建物の廃棄物を受け入れており、柱材は紙用チップ、木くず等はボード材や家畜敷材用のチップ、ビニールや紙は燃料用チップ、金属は有価物としてリサイクルしています。瓦屋根は粉碎してレンガ等に、砂利は農業土壌や公共事業でも使用できる再生技術を持っているとのこと。

経営面ではISOを7種統合し遵守することで透明性を出し、森の保全には農業を引退した近隣高齢者を環境ナビゲータとして採用するなど雇用の促進につなげ、地元で採れた野菜を使用した弁当や特産物を販売する「寄り道の駅」を地域と連携して運営するなどして、地域住民の理解を得ています。さらに近隣小中高の学校の社会科見学でも使用され、若い世代の環境への意識づくり、また逆に若い世代の感覚を知る機会としているそうです。



これら一つ一つを積極的に見せることで、毎日が監査と同じ状態になり、日頃から整理・整頓・清掃の3S達成につながり、更には躰・清潔の5S達成に繋がるとのこと。

産業廃棄物中間処理業は「安心・安全」が最も重要視され、最も難しい課題とのこと。また、地域や自然との共生に向けた発想は、「衣食住足りて礼節を知る」の言葉通り従

業員の生活レベルが安定してこそ生まれるとのことで、企業のブラック化や人件費の抑圧につながるダンピング競争には絶対に参加しないとのことです。よって、「安心・安全」を付加価値とした適正処理・適正価格であるため、納得頂けない顧客はお断りしているそうです。（「価格決定権はこちらにある」との名言が飛び出しました）

資源化の重要性、環境への配慮、サービスとは何か、ということを改めて考えさせられ、非常に有意義な定例会だったのではないのでしょうか。

触媒資源化協会

小林様

拝啓

先日は弊社の環境学習に参加して頂き、誠にありがとうございました。
お聞き苦しい点もあったかと思いますが、みなさまに楽しんで頂けたならば幸いです。

また貴重なお言葉を多々頂き、大変勉強になりました。重ねてお礼申し上げます。

工場見学では皆様熱心にご覧いただきまして大変嬉しく思います。
今後も皆様のご期待に添うべく努めて参りますので、引き続き宜しく願い申し上げます。

弊社を取り巻く「くぬぎの森」の景色は四季にあわせて日々変化しております。
季節を感じられる「大人の社会科見学」をご提供できたらと考えております。
みなさまにお会いできる日を、弊社一同心よりお待ちしております。

末筆ながら、みなさまのますますのご活躍を祈念いたしております。

敬具

平成28年9月吉日

やまゆり倶楽部事務局

くぬぎの森環境塾 一同



第229回月例会（施設見学会）参加の会員皆様

以上

4. 事務局より（10 月度の予定）出勤予定：10 日間、赤・個人予定あり。

日	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7	8
×	×	○	○	第230回月例会 （イトムカ鉱業所）		× (M)
9	10	11	12	13	14	15
×	体育の日	○	× (C)	×	○	×
16	17	18	19	20	21	22
× (M)	×	○	×	×	○	×
23	24	25	26	27	28	29
×	× (G)	○	×	×	○	×
30	31	11/1	11/2	11/3	11/4	11/5
× (M)	個人旅行 （三陸は復興？）		○	文化の日 × (祭)	34JSCRA 会 （狭山 GC）	×

5. 【雑学】町田市の境界を巡る 8 (相原駅から多摩境駅を巡る)。

今回は、町田の秘境、大地沢から草戸山を目指した都県境の尾根めぐりであった。今回(6月17日)は一転して町田と相模原を隔てる境川を中心とした平場(市街地)の散策である。集合場所の JR 横浜線相原駅前からは A 班が既に出発、B 班が未到着の参加者を待っている。連絡が付かない方が一人いたが9時過ぎに B 班も出発する。入梅して雨が続き前日も雨、さて当日は?と思ったが、何とまたまた晴天となった。境界巡りに参加した全てが晴天であったのは確率的にもすごい事である。

さて今回の行程を紹介すると、町田と相模原を行ったり来たりのコースであった。

JR 横浜線相原駅(start)⇒①白山神社・次郎柿⇒②青木家屋敷⇒③瑞石山清水寺(臨済宗妙心寺派)⇒④旧橋本宿(大山街道)牛久保長屋門⇒⑤曹洞宗橋本山瑞光寺⇒⑥橋本山香福寺(臨済宗建長寺派)⇒⑦日枝神社⇒⑧三つ目山公園(昼食)⇒⑨金龍山寶泉寺(臨済宗建長寺派)⇒⑩天縛皇神社⇒⑪田端環状積石遺構(ストーンサークル)⇒⑫小山白山公園⇒京王相模原線多摩境駅(goal)

相原駅東口前を出発し、町田街道を横断、境川に架かる吉田橋(きったばし)を渡る。吉田橋とは吉川村と田奈村を結んだ橋という意味だそう。境川沿いに相模原市を歩いて再度二州橋を渡って町田市に戻る。二州橋とは武州と相州を結んだ橋という意味である。

《白山神社》町田市相原町768

堺中学校の裏手に建立されている神社で創建は不詳である。祭神は菊理媛神(くくりひめ)で争いやしめ事の仲裁の神といわれている。鳥居は明治8年12月上梓の石作りであり、大正12年の関東大震災、平成24年の東日本大震災にも耐えた。しかし鳥居は平成24年3月に新しく再建された。



《次郎柿》町田市相原町758



民家(川端家)の庭先にある柿ノ木で、樹齢は400年以上前で、約300年前にこの地が大火災に見舞われたが枯れずに残った。多人数の人間が家前でうろろろしていたので川

端家の番犬にほえられ続け退散する。

《青木家屋敷》町田市相原町 810



青木家は三多摩自由民権運動指導者であった青木正太郎の生家。正太郎は政治家として村長、県・国会議員、また武相銀行頭取、江ノ電の創立、京急の社長等も歴任した。

青木芳斎は大坂の緒方洪庵の適塾に 6 年間学び、青木得庵の養子となり相原村の医療に尽くした。青木家は現在でも青木医院として開業している為、敷地内部外者の立入りは禁止と成っている。青木医院は町田街道に面して立地している。

《清水寺（せいすいじ）》町田市相原町 701

再度、境川沿いの道に戻り、16 号バイパス下を通り、町田街道より丘へ上る場所に立地する清水寺に到着する。清水寺は青木家と牛久保家の菩提寺となっている。下の写真は清水寺の左右の門柱である。左の門柱は青木芳斎、右の門柱は牛久保〇久の名前が刻印されているのが判る。このことから、檀家の代表であったことが偲ばれる。



善寧児先生碑

イギリスのエドワード・ジェンナーは 1796 年 5 月 14 日に牛痘（ぎゅうとう）による天然痘予防法を成功させた。日本ではジェンナーの種痘から約 50 年後の江戸時代末期に大阪で緒方洪庵が、江戸では伊藤玄朴が種痘の実験に成功した。青木得庵は伊藤玄朴から痘苗（とうびょう）を入手し、末子桃吉を実験台に接種を試み成功させた。この頃、種痘は疱瘡（ほうそう）の膿（うみ）を植えるのだから牛になるなどの流言が飛び交った時代であったが、得庵は粘り強く説いて回り普及につとめた。得庵の妻喜代が、晩年種痘の普及を記念して清水寺の境内に、この「善寧児（ジェンナー）先生碑」を建立した。

16号国道に出て、両国橋を渡り旧橋本宿に入る。橋本は現在、相模原市緑区橋本である。相模国高座郡相原村に属していたが、江戸期に橋本村として独立した。橋本宿は八王子、川越と厚木、小田原を結ぶ大山街道の宿場として栄えたと言われている。享保21年（1736）には家数48軒、およそ100年後の天保3年（1832）には人家は171軒に増えている。

《牛久保長屋門》相模原市緑区元橋本町3



両国橋を渡った、旧橋本宿にある牛久保家の長屋門。この長屋門は桁行9.5間（約17.1m）梁行2.5間（約4.5m）の堂々たる構えである。現在牛久保家の住居として使われている為、表より眺めるだけである。牛久保家は八王子千人同心でもあった。

《瑞光寺》相模原市緑区元橋本町6-1



瑞光寺は、下相原村の村民五左衛門の祖先勘十郎（法名瑞光月心、天正14年1586年没）が開基、聖山大祝（天正19年1591年寂）が開山となり創建したといわれている。江戸時代には寺小屋が開かれ、明治6年（1873）からは本然学舎（相模原市立旭小学校の前身）が開校した場所である。近年建替えた本堂は、釘を一本も使わずに組み立てられたそうで建築費用は7億円とか。その多額な費用は檀家の寄進によるものであろうか？

ハイキング資料として明治初年頃の橋本村居住者見取図を貰ったが、そこに記載されている牛久保家、松浦家、相沢家、矢島家など、元橋本町は現在でもその時代の子孫が明治の地図の通りタイムスリップした如く、変わらずに居住しているのも歴史を感じる街だ。

《香福寺》 相模原市緑区橋本 5-39-17



臨済宗建長寺派寺院の香福寺は、橋本山と号し、建長寺 67 世の蔵海性珍（応永 18 年 1411 年没）が開山、その後矢嶋左近某（寛永 17 年 1640 年没）が中興したと伝えられる。

街道に面した寺院ではあるが、境内は静寂で、樹齢 400 年の高野槇がある。自噴する井戸水を利用した池には大型の鯉が悠々と泳いでいる。境内のベンチや、休憩室の利用も利用可で、散策に来る方はいつでもウエルカムとのことであった。住職の奥方から、寺の説明があると同時に、ハイキングメンバーに菓子まで頂いた。参加の皆さん、ここで昼食タイムなら良かったなーの声も。

一息ついた我々は、境川の横町橋を渡り町田市側に入り、下流の寿橋まで川沿いの散策路に行く。境川の町田側に相模原の住所が二箇所ほどある。川の蛇行を直線化した名残りのようだ。寿橋の左岸にある小さな町田市立小山町三つ目広場が辛うじて町田市となっているようだ。ここより町田街道の久保ヶ谷戸交差点を通り日枝神社を目指す。



《小山日枝神社》 町田市小山町 3747

通称「三ツ目の山王様」と呼んで、創設の年代は不詳である。社殿には中央に主祭神の大山咋命を、左に金刀比羅大神、右に八坂の大神を奉斎してある。八坂大神（疫病除の神）は七月二五日が夏祭りで、当日町内巡行の神輿の渡御がある。また、市無形文化財の三ツ目囃子は毎年祭礼に奉納しており、享保（一八世紀初め）の初期よりの五穀豊穡の囃子で今に続いている。（「町田市史」より）



山王山日枝神社にて

山王日枝神社の裏山は小山となっており、小山町の謂れは小山が連なっていることであろうか。ここに登ると既に三つ目山公園の真っ只中のような。京王相模原線多摩境駅が出来、多摩ニュータウンの開発で開設された町田市の自然公園である。公園に隣接して小山ヶ丘小学校が開校されている。6月とは言へ今日は猛暑日のようだ。日差しを避けて林間道で昼食とする。午後は三つ目山を下山して寶泉寺に向う。

《寶泉寺》町田市小山町 3629



寶泉寺は、知平佐治右衛門就嗣が土地を寄進して開基となり、鎌倉建長寺 37 世眞照大定禅師（貞治 2 年寂）が開山となり、延文 4 年（1359）に創建したといい、江戸時代には寺領 9 石の御朱印状を拝領したといわれる。以下の 2 点は町田市指定有形文化財である。

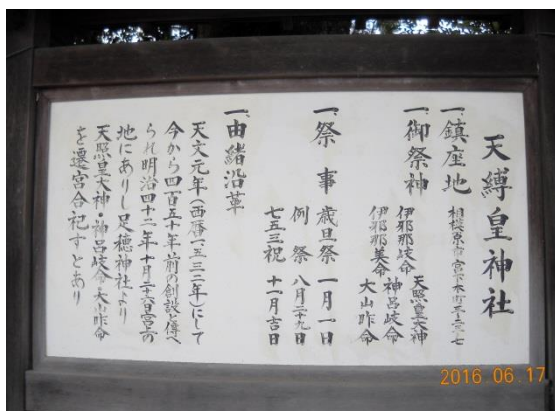


寶泉寺木造釈迦如来坐像と寶泉寺十六羅漢図。羅漢図は小山の絵師島崎旦良（1766～1818）が描いたものである。旦良は相模国愛甲郡中荻野村に生まれ、二十歳のとき現町田市小山町、当時の小山村の島崎家に婿入りし、八王子千人同心の職を継いだといわれている。画は表絵師の駿河台狩野家四代目、洞春美信に学んでいる。

三つ目の信号から小山橋を渡って、再度相模原市側の境川散策路を歩く。蓬莱橋を過

ぎ暫くすると相模原市の緑区と中央区の境となる。

《^{てんぱくこう}天縛皇神社》相模原市中央区宮下本町 3-23-7



川の向こうは多摩境駅が近く、京王相模原線の電車が間近に見える場所に所在している。

天文元年（1532 年）にして今から約 480 年前の創設と伝えられ、明治 42 年 10 月 26 日、宮上の地に有った足穂神社より天照皇大神・大山咋命を遷宮合祀した。天縛とは伊勢信仰の天白信仰によるものではないかと言われている（さがみはら風土記）。

《田端環状積石遺構》町田市小山町 3112-1



縄文時代後期中頃から晩期中頃（約 3900～2800 年前）にいたるまで連続的に構築された遺構で大小の自然礫を帯状に積上げ、長軸（東西）約 9 m、短軸（南北）約 7 m の楕円形を呈している。ほぼ長軸上に富士山を望む。積石の内部からは土偶、耳飾、など日常品以外の特殊な遺物が多数発見されており、本地域一帯に居住する集団の宗教的な場であったと考えられる。

（町田市教育委員会）



ここからは多摩境駅も近い。ハイキングは多摩

境駅で解散となる。次回第 9 回の出発は 9 月に多摩境駅より。左上の写真は多摩境駅広場の田端環状積石遺構を模したモニュメントである。

記：小林尚道